



令和5年度 水丘南小学校 学校評価（自己評価）



《学校教育目標》

「個性豊かで、思いやる心を持ち、主体的に生きる児童の育成」

《めざす児童像》

認め合い 支え合う 子ども ○自ら学び、考え続ける子(知) ○認め合う、心豊かな子(徳) ○心身ともに健康で、活力のある子(体)

■評価基準 … A:達成(80%以上)、B:概ね達成(60%~79%)、C:やや不十分(50%~59%)、D:不十分(49%以下)

■評定基準 … 1~3までの3段階による評定

		自己評価										
		評価	評定									
思いやりの学校	■評価項目(めざす学校像項目)											
	思いやりの学校	(1) いのちと心を大切にす教育の推進		3	やさしさと思いやりの学校		<p>【優しさ】 保護者: 楽しく登校、親子読書、障がい者理解(3項目)</p> <p>児童: 良いところ見つけ(自分・友達)(2項目)</p> <p>職員: いじめを許さない学級経営、褒める、個に応じた指導等(7項目)</p>					
		・「加古川市いじめ防止対策改善基本5カ年計画」及び「いじめ防止・早期発見・早期対応のための改善プログラム」に基づいた教育の推進	A	3	<p>保護者: 67.9 (肯定), 32.1 (否定)</p> <p>児童: 73.0 (肯定), 27.0 (否定)</p> <p>職員: 90.8 (肯定), 9.2 (否定)</p>		<p>《成果等》</p> <p>○いじめ、問題行動が発生したとき、担任や学年から迅速な報告があげられ、管理職を含め情報共有を図り、指導から保護者説明までの対応の流れが確立されてきている。</p> <p>○行き渋り、困り感のある児童についてケース会議を行うことで、児童への効果的なかかわりを検証したり、担任が一人で抱え込むことなく、職員全体で関わっていこうとする体制づくりを整えることができた。</p> <p>《課題等》</p> <p>▲感染症の流行による学級担任不在クラスへの支援体制の構築。</p> <p>▲担任兼特別支援コーディネーターを担う職員の負担軽減をいかに図るか。</p>					
		・ 自他の命の尊さを実感し、自尊感情を高める人権教育の推進	A									
		・ 道徳科教育の充実	A									
		・ 特別支援コーディネーターによる校内支援体制の充実	B									
		・ 生徒指導の充実 (いじめ・問題行動・不登校対策の推進)	A									
		・ 学校生活適応感尺度 (アセス) を活用した心の通い合った指導の充実	A									
		・ 防災教育・防災体制の充実	A									
		・ 音楽・図工科を通じての心の教育の推進	A									
活気ある活動的な学校		(1) 確かな学力の育成							3	活気ある活動的な学校		<p>【活気】 保護者: 自主的なあいさつ、食育の推進等(3項目)</p> <p>児童: めあて・給食・外遊び(3項目)</p> <p>職員: 教材研究、行事の実施、話し合い活動の指導(3項目)</p>
	・ 協同的探究学習を核とした学習指導の充実	B	3						<p>保護者: 72.7 (肯定), 27.3 (否定)</p> <p>児童: 75 (肯定), 25 (否定)</p> <p>職員: 83 (肯定), 17 (否定)</p>		<p>《成果等》</p> <p>○コロナ明け、創意工夫による各学年の校外学習等の実施。</p> <p>○運動会や音楽会など、実施可能な形態を工夫しながら学校行事を計画、実施し、児童が達成感を感じる教育活動を行うことができた。</p> <p>○職員会、企画委員会、職員打合せなど、提案資料を精選したり、円滑な会議進行を意識したりするなど、限られた時間を効果的に使おうとする意識が高まった。</p> <p>《課題等》</p> <p>▲ICTの活用について、学年、学級での端末使用頻度に差が見られる。今後、ICT活用に関する研修を重ねたり、職員同士で情報共有しながら、効果的な活用について実践を積んでいきたい。</p> <p>▲全国的にも児童の体力低下が懸念されており、本校でも同様の課題がある。今後、体力を養うための活動を部会を中心に検討していきたい。</p>	
	・ 基礎基本の充実 (基礎基本の習得と活用、指導方法の工夫)	A										
	・ 体験活動を取り入れた総合的な学習の時間の充実	A										
	・ 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実	A										
	・ 国際化に対応した教育の推進 (外国語活動・英語教育の充実)	B										
	・ キャリア教育の推進	A										
	・ 兵庫型教科担任制による効果的な指導 (少人数・教科担任)	A										
	・ 朝の学習時間(アップタイム)の充実と読書活動の推進	B										
	(2) 特別活動の推進			2								
・ 児童の思いに沿った児童会活動・児童が主体となった集会活動	B											
・ 異年齢集団による活動・学校行事の充実	B											
(3) 健やかな身体育成		2										
・ 全校体育活動の展開及び充実	A											
・ 運動習慣の定着を図るための指導の工夫・改善	B											
・ 食育の推進・「かこがわウェルネス手帳」の積極的活用	B											
安全で安心な学校	(1) 地域に開かれた学校・学級づくりの推進		3	安全で安心な開かれた学校		<p>【安心・安全】 保護者: 教育方針周知、教育活動周知、行事内容是非、安全防災の備え(4項目)</p> <p>児童: 家庭防災、自主的挨拶、相手を見て挨拶(3項目)</p> <p>職員: 教育環境整備、自主的な朝のあいさつの指導(2項目)</p>						
	・ 各種たよりによる保護者への啓発	A	3	<p>保護者: 76.4 (肯定), 23.5 (否定)</p> <p>児童: 47 (肯定), 53 (否定)</p> <p>職員: 71.5 (肯定), 28.5 (否定)</p>		<p>《成果等》</p> <p>○日々更新しているホームページを見て、児童の様子が分かりやすいというご意見が寄せられた。</p> <p>○学校運営協議会委員、交通指導員、見守り隊(PTAボランティア)の方々の協力を得ながら、安全な登校指導が行われている。</p> <p>○毎日来校される図書ボランティアの方々の活動により、図書室の環境が整然としている。そのおかげで、児童の充実した図書室利用が推進されている。教職員の業務削減にもつながっている。</p> <p>《課題等》</p> <p>▲教育委員会に報告済みではあるものの、家庭科室のエアコン設置が進まず、環境改善を待っている状態である。</p> <p>▲児童の持ち物(置き勉を含む)が増え、ベストな収納場所が定まらず、教室環境の改善が必要である。</p> <p>▲校舎の老朽化により、修繕が必要な箇所が出てきている。スクールサポートスタッフによる修繕で改善されている例も多いため追いついていない状況である。</p>						
	・ ホームページ更新によるリアルタイムの情報提供	A										
	・ 学校運営協議会(コミュニティスクール)を通じた地域総がかりの教育の推進	B										
	・ 学校支援ボランティア活動の充実	B										
	(2) 登下校の安全確保(PTA・地域との連携)							2				
	・ 朝のあいさつ運動や子ども安全の日を利用した見守り	A										
	・ 危険箇所の把握と対策	B										
	・ 登校班への支援・指導	B										
	(3) 交通安全指導の徹底							2				
・ 交通安全教室の実施等での全校児童への啓発	B											
(4) 校内の安全点検の徹底		2										
・ 施設及び備品関係の定期的な点検実施	B											